

Arcstar Smart PBX

【KX-HDV130N/230N】
ファームウェアVerUP手順書

NTTコミュニケーションズ株式会社
第1.3版

2022年1月12日

作業概要

【はじめに】

本手順書は、Arcstar Smart PBXサービス(以降、SmartPBXと記載)をご利用中のお客様向け、KX-HDV130N/230N(以降、IP Phoneと記載)のファームウェアバージョンアップ手順書です。

【バージョンアップ後のファームウェア】

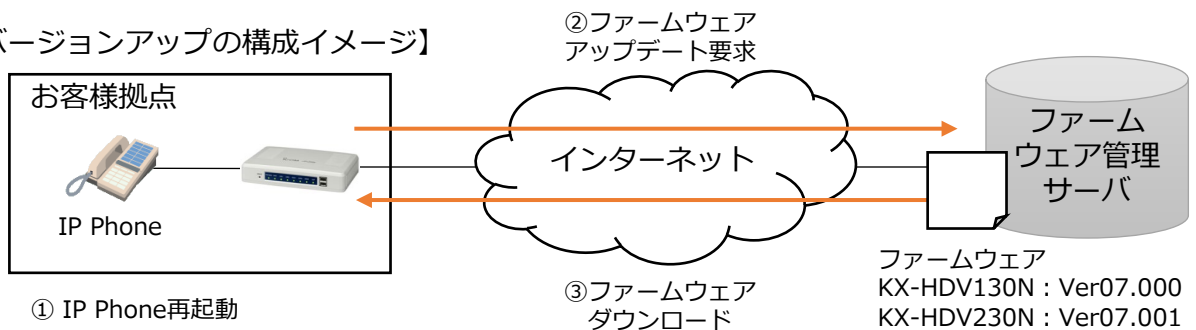
KX-HDV130N : Ver07.000

KX-HDV230N : Ver07.001

注意事項

- バージョンアップ作業中はSmartPBXサービスがご利用できません。
IP Phoneのファームウェアバージョンアップには時間(約15~20分程度)が掛かる為、着信が多い時間帯を避けて作業いただくことをお勧めします。

【バージョンアップの構成イメージ】



IP Phoneは再起動を契機として、ファームウェア管理サーバ(以降、サーバと記載)に対してアップデート要求を行い、サーバからファームウェア(Ver07.00x)をダウンロードします。

前提条件	<ol style="list-style-type: none">作業は、IP Phoneがオンライン状態(インターネット接続)で実施する必要があります。IP PhoneのMACアドレスが「Web設定変更」ページに登録されており、端末自動設定がOnになっている必要があります。お客様拠点からサーバ(any)に対してHTTP通信(TCP/ポート80)が可能である必要があります。
------	---

注意事項

- ・ UNO (閉域網) でインターネット接続環境が無い場合は、IP Phoneのバージョンアップはできません。
- ・ 2019年6月以前にオフィス構築サービス等でKX-HDV230Nのマルチライン機能を手動設定で導入されている一部のお客様はファームアップ作業前にマルチライン設定情報をWeb設定変更サイトへ反映後にファームアップ作業を行ってください。反映前にファームアップ作業をするとIP Phone内のマルチライン登録情報が削除されます。

VerUP事前準備【1/2】

IP Phoneがファームウェア管理サーバへ自動接続を行う設定になっているか確認します。

Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトにログイン可能な管理者様にて内線設定の状況をご確認ください。



内線設定で「端末種別」がIP Phoneと表示されている内線番号について

- ・「端末自動設定」が「on」の設定になっていること
- ・「端末MACアドレス」が登録されている

をご確認ください。

<一覧で確認する場合>

選択	内線番号		ユーザID	パスワード	端末種別	提供形態
	拠点番号	端末番号				
<input type="radio"/>	20	200	z●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●	アプリ提供
<input type="radio"/>	20	201	z●●●●●●●●	●●●●●●●●	IP Phone	アプリ提供

表示を右にスクロールしてください。

IP Phone 送付先 住所	端末自動設定	端末MACアドレス	マルチライン主 回線
-	off	-	-
-	on	BCC34●●●●●●	off

一覧で確認する場合の他に、次ページで端末毎に確認する場合も掲載してありますが、いずれかでご確認ください。

VerUP事前準備【2/2】

<端末毎に確認する場合>

該当のIP Phoneを選択します。

選択	内線番号		ユーザID ?	パスワード ?	端末種別 ?	提供形態 ?
	拠点番号 ?	端末番号 ?				
<input type="radio"/>	20	200	●●●●●●●●	●●●●●●●●3	●●●●●●	アプリ提供
<input checked="" type="radio"/>	20	201	●●●●●●●●	●●●●●●●●3	IP Phone	アプリ提供
<input type="radio"/>	20	202	●●●●●●●●	●●●●●●●●3	スマートフォン	アプリ提供

変更を押下します。

1/9ページ

変更

内線情報の設定ファイルを取り込みます。

CSV取込

内線情報の設定ファイルをダウンロードします。

CSVダウンロード

「端末自動設定」が「on」の設定になっていること
「端末MACアドレス」が登録されていること
をご確認ください。

留守番電話パスワード ? ●●●

発信規制 ? 設定 未設定

IP Phone送付先住所 ?

端末自動設定 ? **on** ▼

端末MACアドレス ? BC : C3 : 42 : ●● : ●● : ●●

コールウェイティング(話中着信) ? on off

※コールウェイティングについては、KX-UT123N、KX-UT136N、KX-HDV130N、KX-HDV230Nの機能です。

端末自動設定については変更ボタン押下後にIP Phoneの再起動が必要となります。
(KX-UT123N、KX-UT136N、KX-HDV130N、KX-HDV230Nは再起動後設定反映が完了するまで5分間かかります。)

変更 **戻る**

設定されている場合は変更せずに「戻る」を押下ください。

作業の前にIP Phoneの液晶表示部に内線番号が表示されていることをご確認ください。

IP Phoneのアップデート作業を実施します。

IP Phoneの再起動

各IP Phoneの再起動を以下、手順A/Bのいずれかで実施してください。
本作業によってIP Phoneのファームウェアバージョンアップが開始されます。

【手順A】ソフトウェア リスタート
お持ちのIP Phone手順書等に従い、リスタートを行ってください。

例) KX-HDV230Nの場合
メニュー > システム設定 > システムオプション > リスタート > はい

【手順B】電源のOFF/ON
電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続

注意事項

- ・ 一斉に複数のIP Phoneを再起動すると、お客様の回線によっては帯域が逼迫しファームウェアダウンロードに時間を要す可能性があります。
一台ずつ再起動いただくことをお勧めします。
- ・ IP Phoneバージョンアップを行う回線で他のデータ通信を平行して行われている場合、お客様の回線によっては帯域が逼迫しファームウェアダウンロードに時間を要す可能性があります。
バージョンアップ時は、他のデータ通信を控えていただくことをお勧めします。

動作確認

IP Phoneの再起動までが完了したら、発着信等を行い動作に問題が無いことをご確認ください。
以下手順でファームウェアバージョンがVer07.00xになっていることをご確認ください。
メニュー > システム設定 > ステータス > ファームウェア バージョン

注意事項

- ・ IP Phoneは再起動後、ファームウェアをダウンロードし、1度立ち上がりませんが、ファームウェアを適用するため再度自動で再起動します。
(バージョンアップ作業中は、IP Phoneの操作や電源のOFF/ONは行わないでください。)
- ・ バージョンアップ作業完了後、IP Phoneの画面上でファームウェアバージョンをご確認いただき、バージョンが上がっていない場合は、以下のようにご対応ください。
 - 1.再度前述した前提条件と注意事項をご確認いただき、該当している項目があれば、改善いただく
 - 2.1.をご確認いただいた上で再起動いただく (バージョンアップ再実施)
- ・ 複数台ご利用でバージョンアップが出来ない機器があった場合は、HUB等の接続変更を実施して再度ご対応ください。